

いきいき生っ子

平戸市立生月小学校
学校だより
令和4年



12月23日 文責：平松紀子

◆2学期を終えて

今年の2学期は、with コロナということで、状況を見ながらですが、できるだけ教育活動を計画的に行いたいという思いで活動してきました。例えば、小学校陸上競技会は残念ながら中止となりましたが、修学旅行は予定通りの内容で行うことができました。新型コロナの影響がまだまだあり、予定通りにできる活動ばかりではなく、保護者の皆様には、ご心配とお世話をおかけすることが多々あったかと思えます。そのような中で、無事に2学期終業式を迎えることができました。保護者の皆様には様々なご協力をいただき感謝申し上げます。

●「人から学ぶ」学習時間があります。2学期も様々な体験をしました。

1年生	お家の人の仕事やお手伝い	家族の仕事や役割を尋ねてみたり、家庭生活において自分にできることを考えたりして、自分にできることを実践する。
2年生	地域のお店屋さん お店屋さんの秘密	地域で働いている人たちに自分たちの生活が支えられていることが分かるとともに、地域に親しみや愛着をもつ。
3年生	水産業で働く人たち	生月町の主要産業である水産業関係の方のお話やアゴ焼き体験を通して、生月町のよさについてまとめる。
4年生	福祉関係で働く人たち	身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人たちについて考えたり、自分にできるボランティア活動について考えたりする。
5年生	生月や平戸の産業と環境について	水産業と海のごみ問題に着目したり、地域の農業生産者の話を聞いたりしたことをまとめ、発信する。
6年生	ようこそ先輩	生月小学校を卒業された先輩の職業観やふるさとの思いに触れることにより、将来の生き方に関心を持つ。



いろいろな方々の話を聞いたり、様々な体験をしたりすることで、ふるさとのために自分にできることを考え、行動することができるようにしたい。

人しよきあらい
12 がつ 9 にち 7 人 ようび

しよきあらいのおしよきあらい
あらいからあらい
あらいからあらい
あらいからあらい

おきつたしよきあらい
12 がつ 9 にち 1-3 ようび

おきつたしよきあらい
おきつたしよきあらい
おきつたしよきあらい
おきつたしよきあらい

かいたんそうじ
12 がつ 9 にち 全 ようび

かいたんそうじ
かいたんそうじ
かいたんそうじ
かいたんそうじ

●魚がさばけたぞ！（6年生の魚さばき体験）



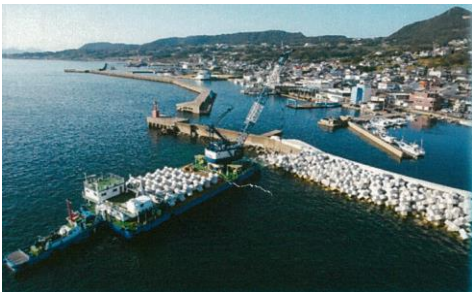
〇ぼくは、魚さばき体験でヒラマサの皮を包丁で切るのをやりました。魚を切るのは初めてだったのでワクワクしました。アジの3枚おろしでは、まずはウロコをはいでゲジゲジを切ったりして3枚にするまでが難しかったけど、どんどん慣れてきました。家でもできそうだなあと思いました。刺身も切ったりしたのですごく勉強になりました。 6年

〇ぼくは、最初小さな魚をさばくと思っていました。しかし、発砲スチロールに氷が入った箱に入っていたのは、大きな魚だったのでびっくりしました。そして、アジをさばく手順を教えてもらいました。最初は、上手にさばけるか不安だったけど漁協の人たちや学校の先生からも「上手」と言われてよかったです。この魚さばきを家や他のどこかで生かしたいです。 6年

今年も生月漁協の皆さんにお世話いただき、魚さばき体験が行われました。さばいた魚は、ムニエルにして食べました。この学習は、漁業の町でもある「生月町」について3年生で調べ学習を行ったことから始まり、5年生の水産業、そして、魚を実際に調理することへとつながっていきます。子供の感想を読むと、体験して初めて感じるものがあったり、今後の生活に生かしていきたいという気持ちになったりしています。漁協の方が、「上手かばい。将来は漁協で働けるばい。」とおっしゃっていましたが、当たっているかもですね。

●カサゴ稚魚の放流体験

12月8日（木）にしおかぜ前浮棧橋にてカサゴの稚魚を6年生が放流しました。これは、私たちが安全・安心に生活できるように港の工事を行っている増山建設さんからのお誘いを受けて行われたものです。増山さんや桝屋さんからは、SDGsの「14 持続可能な開発のために海洋・海岸資源を保全し、持続可能な形で利用する」ことについてもお話いただきました。海に囲まれている私たちの



生月町では、おいしい魚が捕れたり、食べられたりしています。それができるのも、人の努力や稚魚放流などの活動によって海と上手な付き合い方をしているからだと思われ、子供たちは学びました。放流された約1,400匹のカサゴは、3～4年で釣れるそうです。海と一緒に生きる、海を守るということも学んだ時間でした。



◆人権学習会

12月2日(金)には、太田さん、田代さん、他6名の皆さんと一緒に人権教室が行われました。いじめについて考えるDVDを見て、“自分のことだけではなく、人のこと(人の権利)も考えて行動しないといけない”という考えをもつ子供もいました。また、いじめを受けていた子供が「子どもの人権SOSミニレター」へ助けを求めることで解決していったという話からSOSミニレターの紹介もありました。何もなかったが一番いいのですが、何かあったときに「助けを求めることができる」ということはとても大切なことです。学校では、「生活アンケート」をとり子供たちの声を拾うことができるようにしています。人権教室の最後には、人権イメージキャラクターのまもる君とあゆみちゃんをいただきました。今は、玄関で子供たちを迎えてくれています。

リモートでしたが、人権集会もありました。そこでは、「くれよんのくろくん」(なかやみわ:作. 絵)の絵本を読みました。なぜこの本を選んだかという、子供たちに、“様々な色があるクレヨンたちのように、人には個性があり誰にでもいいところが必ずある、自分はダメだと思うことはない”ということを伝えたかったからです。(くれよんくんシリーズは、単純に読んでもおもしろいですよ)



●各学年の人権標語

各クラスで人権について学習し、自分たちのクラス標語を作りました。

1年生	ふわふわことばをつかって やさしくなかよくあそんで ともだちをたいせつにする
2年生	たすけ合い 思いやって みんなにここに
3年生	一人一人が みんな大切 ふわふわ言葉 ぽっかぽか
4年生	「大丈夫?」「ありがとう」ふわふわ言葉で みんな明るい生月っ子
5年生	助け合う思いを 言葉と行動で 希望に向かって 突き進め
6年生	助け合い 人の権利を大切に 尊重し合い支え合う友



1日 元日 (学校は12月29日~1月3日まで閉まっています。)

10日 始業式、集団下校

11日 身体測定 (5・6年)

12日 身体測定 (3・4年) 書初め大会

13日 身体測定 (1・2年)

17日 委員会活動

19日 授業参観・懇談会・学校保健委員会

23日 1・2年持久走記録会 24日 代表委員会

25日 3・4年持久走記録会

26日 生月中学校入学説明会 (6年)

27日 5・6年持久走記録会

31日 生小、山小交流会 (6年) 委員会編成

◆2学期の終業式では

今回は、世界のお正月について話しました。世界と比べてみることで、日本のお正月や伝統行事を改めて意識してほしかったからです。子供たちに「お正月と言えば・・・」と質問すると、右のような回答となりました。グローバルな世の中だからこそ、自分たちの国「日本」のお正月のことをきちんと知って、自信をもって紹介してほしいと思います。

(うちのかんころ餅は、生姜とゴマが入っていて絶品だと思っています。)

また、もう1つ伝えたかったのは、お正月の迎え方は違っていても、どの国でも新しく迎える年の幸せを祈って、新年を迎えているということです。生月小学校では、来年も「元気いっぱい、笑顔いっぱい、夢いっぱい」で幸せを呼び込みたいと思います。

生月小学校の子供たちに聞いてみました。お正月といえば？

1位 鏡餅・お餅

2位 お年玉

3位 おせち

4位 年賀状

5位 人が集まる

親戚が来る

その他

・凧あげ、羽子板、カルタ

・新年のあいさつ ・きもの

・門松 ・お参り など



あけましておめでとう
ございます



そこで、子供たちには、新しい年を迎え幸せを呼び込むために、2つのことをお願いしました。

①お家の人や地域の方々に進んで挨拶をします。特にお正月は、

「あけましておめでとうございます」と元気に挨拶をします。

(新年にかわす「おめでとう」という挨拶は、本来は歳神様をたたえ、1年の無事を祈る言葉だそうです。)

②新しい年に、新しい気持ちで、自分を高めることができるように、目標をしっかりともちます。

1月10日(火)に子供たちが元気に、笑顔で、目を輝かせながら学校へ登校してくるのを楽しみにしています。

今年は、足の速さを生かして、「動く」をキーワードにがんばってまいりました。御協力、御支援ありがとうございました。



ジャンプ力を生かして、子供たちとピョンピョンはね回りながら元気いっぱい行動していきます。まだまだ「動き」ます。



よいお年をお迎えください

「もう～♪ い～くつ♪ 寝ると お正月♪」